

Society5.0時代を生き抜くための「データサイエンス」人材の育成

プログラムの目的

現代社会では、ICTやネットワーク技術の発展により、あらゆる情報がビッグデータとして蓄積・活用される時代に突入している

- 超スマート社会では、ビッグデータを適切に読み解き・分析・活用する能力が全分野で不可欠である
- 本プログラムは、統計や数学に苦手意識をもつ学生にも配慮した構成となっている
- データに対して健全な懐疑心と論理的思考力を養うことを重視している
- 情報の真偽を見極める力と、数値に基づいた判断力を備えた人材の育成を目指す

プログラムの到達目標

- ビッグデータやAI活用の基礎的知識を理解し、データ活用の意義や課題を説明できる
- 統計的思考力を身に付け、地元企業、行政の持つローデータを使い課題を解決できる
- Excelや専用ツールを用いて、基本的なデータ処理が行える
- 因果関係と相関関係を区別し、正確なデータの読み取りと解釈ができる
- グループワークやプレゼンテーションを通じて、データに基づいた課題発見・提案力を養う

修了要件

- 「データサイエンス」(2単位)を取得すること。

科目名

「データサイエンス」(2単位)

開講時期:1年「必修」科目

履修対象:幼児教育・美術・ビジネス実務

令和6年度より全学科で必修化！

保育現場のデータサイエンス

- ・子どもの発達記録や行動観察データの整理・分析
- ・出席・欠席データの集計と健康管理
- ・アンケートや満足度調査の分析
- ・業務効率化のためのデータ管理、等

アートの世界のデータサイエンス

- ・SNSやキャンペーンの効果測定
- ・ユーザー分析によるコンテンツ企画
- ・来場者データ・アンケートの分析
- ・クラウドファンディングやECの販売データ分析、等

ビジネス社会のデータサイエンス

- ・顧客管理データの整理・可視化
- ・レセプトや保険請求に関するデータの正確な管理
- ・予約数や稼働率、キャンセル率の管理・予測
- ・顧客アンケートや口コミの集計・分析、等

実施体制

運営責任者
短大学長

企画運営
科目担当教員

プログラム改善・進化
教育改革推進センター

プログラム点検・評価
自己点検・評価室



 **金短** データサイエンス
リテラシープログラム